

Henri Dunant Childrens Foundation



推薦人の言葉

21世紀の医療は細胞に始まり細胞に終わる。

最初は骨髄細胞から始まり、臍帯ジェリー・成長因子ジェリーなどを経てES細胞にたどり着くだろう。その時人々は私が開発したモルラスステージからのES細胞の確立を始めるだろう。なぜなら、生まれてくる子供達には生まれながらの遺伝病や、エボラウイルス、鳥インフルエンザのような未知の驚異的な病が、待ち構えている。これらを克服するには、子供達の身体の組織と100%同じ組織を保有する、モルラスステージから確立されたES細胞からの成長因子のみであると私は考えて、この道を選んで歩んできた。

まだまだ道の途中だが、このHDC FoundationとHDC バンクという、世界のトップクラスの細胞治療技術者が意思をひとつにし、世界の子供達の救済の為に集まったという事実が、細胞治療の世界の普及に必ずや、道をつけてくれる事だろうと期待している。

21世紀の細胞バンクは、細胞治療の伴わないバンクでは意味を持たない。その意味では、このHDC バンクは、子供達の将来の21世紀の医薬品として、大切な役割を果たすであろう事を信じている。

Yury Verlinsky



Dr. Yury Verlinsky

世界で始めて臍帯血のドナーのいない子供と同じ遺伝子を

保有する受精卵を作成し、死を待つのみだった兄を生まれた妹の臍帯血で救うという世界に類を見ない技術で子供の命を救うという快挙を実現した。デザイナーズ・ベイビーという言葉をつくるきっかけになった。

RBMオンラインという学術オンラインを、ロバートエドワーズとともに立ち上げ数々の学会を設立し1000人以上の遺伝病で死を待つのみだった子供達を救い、世界で始めて、受精卵の破壊の必要の無い、倫理問題を克服した《モルラスステージの受精卵からのES細胞》の確立に成功し、時のブッシュ政権の右腕であった、ビル・フリスト上院議員やブッシュ大統領の倫理委員会のトップに君臨していたリオン・カス氏らに、『キリストの聖杯に等しい。』『全く、倫理問題を解決した21世紀の医薬品になりえるES細胞の確立に成功した。』と言わしめし、ノーベル賞ものの快挙であるとマスコミに絶賛された。

2009年6月16日故人となるも、彼の意思は、このHDCバンクやHDCFoundationとなり、生きている。
当会の創設者の一人であり、同時に、当会関連賛同グループ企業の元CEO。

ニューヨークタイムス

<http://www.nytimes.com/2009/07/23/science/23verlinsky.html>

ロスアンゼルス タイムス

<http://www.latimes.com/news/obituaries/la-me-yury-verlinsky22-2009jul22.0.7858775.story?track=rss>

http://en.wikipedia.org/wiki/Yury_Verlinsky

BBCニュース

<http://news.bbc.co.uk/2/hi/health/4545489.stm>

PBSニュース

<http://www.pbs.org/newshour/bb/health/july-dec04/verlinsky.html>